

# 越代地区 西会津・奥川現地視察

平成25年7月22日（月）  
時間：午前8:00～午後6:00  
場所：西会津町奥川大字飯里上ノ原37

越代地区では、平成25年7月22日（月）に 西会津・奥川地区の現地視察を行いました。奥川地区では平成20年度より「奥川地域づくり会議」として地域の活性化に向け、“奥川を元気にする活動”を続けています。活動内容やこれまでの経緯などについてお話しをいただき、奥川地区の方がたと交流を深める事ができました。

また、「道の駅にしあいづ・よりっせ」では地域の特産物や、加工品などの説明を受け、「ミネラル野菜・米」という特色をもった直売所で、奥川地区の様々な情報も入手できました。

今回は、越代地区の今後の活動にむけ、大変参考になる視察研修となりました。

## 次 第

1. 奥川地区紹介
2. 越代地区紹介
3. 越代地区区長さん あいさつ
4. 「奥川地域づくり会議」について
  - ・第1分科会「遊休施設の活用」
  - ・第2分科会「景観づくり
  - ・第3分科会「農林産物加工工場」『こらんしょ村』での営業
5. 意見交換

平松昭一さん  
三瓶純一さん



## 【交流会状況】



## ～意見交換～

- 加工場について
  - ・地元で収穫される野菜や山菜を使って、奥川寄宿舍（こらんしょ村）で、加工品づくりに取り組んでいる。
  - ・メンバー12名で1人1万円の出資金と地域づくりの補助金で始まった。
- 加工品について
  - ・山菜、そうめん、麩の加工、きくらげ、ごはんのもとなどを製品化している。
  - ・今後は、受託加工（確実に販売できる）に力を入れていきたい。
- そば栽培について
  - ・そば栽培は自分たちで手刈り栽培から製粉まで行っている。手刈り栽培も楽しいものである。

- 奥川地区（国道459号沿い）と古殿町
  - ・国道459号は、交通量が800台ぐらいで約200台が他県から訪れている。国道459号沿いの景観づくりの活動をしている。
  - ・水野さんが古殿町を紹介したのを聞いて、高台に桜の木があって素晴らしい町だと思った。古殿町のサクラは地域の宝だと思う。
  - ・地域づくりは自分たちができることから始めればよい
- 体験交流受け入れについて
  - ・原発事故による、西会津は線量が一番少ない地域として、交流拠点施設「奥川寄宿舍」を活用し県内外からの幼稚園、小学生の子どもたちを受け入れている。
- 連絡先「にしあいづ旅マルシェ」西会津元気グリーンツーリズム協議会 事務局：西会津町振興公社  
TEL・FAX 0241-45-2025

## ～今後の地域づくりについて～

- 廃校としての利用について
  - ・廃校となった施設は、奥川支所や診療所としての機能を持たせるなど、利活用方法が検討事項になっている。
- 「奥川地域づくり会議」について
  - ・奥川地域づくり会議は3年前から行っているが、今後10年間活動を続けて成果を出したいと考えている。
  - ・地域づくりは、自分たちも活動していきながら、行政と連携を取ることが大事である。



～奥川地区のみなさん～  
ありがとうございました